

## 研究成果の公表

平成30年(2018年)7月1日~令和元年(2019年)6月30日

### 【学術雑誌】原著論文

1. Ushijima, S, Maekawa, N. First record of the corticioid fungus *Dendrothele arachispora* (Agaricomycetes) in Japan. *The Tottori Mycological Institute* 48: 1-4 (2018).
2. Ishihara, A, Sugai, N, Bito, T, Ube, N, Ueno, K, Okuda, Y, Fukushima-Sakuno, E. Isolation of 6-hydroxy-L-tryptophan from the fruiting body of *Lyophyllum decastes* for use as a tyrosinase inhibitor. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry* 26: 1-7 (2019).
3. Ushijima, S, Maekawa, N, Sotome, K. A new species of the genus *Tubulicium* collected from living *Pieris japonica*. *Mycoscience* 60 (3): 137-140 (2019).
4. Osaki-Oka, K, Suyama, S, Sakuno, E, Ushijima, S, Nagasawa, E, Maekawa, N, Ishihara, A. Antifungal activity of the volatile compound isovelleral produced by ectomycorrhizal *Russula* fungi against plant-pathogenic fungi. *Journal of General Plant Pathology*. DOI: <https://doi.org/10.1007/s10327-019-00872-8> (2019).
5. 田淵諒子, 作野えみ. 原木シイタケにおける長期冷凍保存と解凍条件が食味および成分含量におよぼす影響. *菌蕈研究所研究報告* 48: 5-13 (2018).
6. 寺島和寿, 佐々木明正, 黒田誠, 長谷部公三郎. 菌興 115 号の原木栽培における子実体収量の年次変動. *菌蕈研究所研究報告* 48: 14-21 (2018).

### 【学会発表等】

1. 田淵諒子, 作野えみ: 乾燥条件の違いによる乾シイタケの嗜好性と成分含量の調査. 日本きのこ学会第 22 回大会 (函館、2018 年 9 月).
2. 奥田康仁, 大内功男, 村上重幸: エリンギ栽培における脱脂米ヌカ・小麦全粒粉併用の有用性. 日本きのこ学会第 22 回大会 (函館、2018 年 9 月).
3. 寺島和寿, 佐々木明正, 長谷部公三郎: 複数集団の統合データを利用したシイタケの秋期発生に関する QTL 解析. 日本きのこ学会第 22 回大会 (函館、2018 年 9 月)
4. 太田早紀子, 三浦千裕, 奥田康仁, 上中弘典, 松本晃幸: ヒラタケのミトコンドリア DNA 変異体についての RNA sequencing 解析. 第 18 回糸状菌分子生物学コンファレンス (新潟、2018 年 11 月).
5. 須貝直美, 美藤友博, 宇部尚樹, 上野琴巳, 奥田康仁, 福島(作野)えみ, 石原亨: ハタケシメジに含まれるチロシナーゼ阻害物質. 日本農芸化学会中四国支部第 54 回講演会 (岡山、2019 年 6 月).